

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果及び指導の工夫について

大竹市立小方中学校

1. 全国学力・学習状況調査の結果

教科	平均正答率 (%)		
	本校	広島県	全国
国語	61	58	58.1
算数・数学	49	52	52.5

2. 重点課題

教科	重点課題
国語	<p>○「読むこと」に関する問題の正答率に課題がある。①「短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える」問題、②「本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する」問題、③「話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題の正答率が、それぞれ①「41.2 (全国 48.3)」、②「32.4(全国 36.3)」、③「42.6 (全国 44.0)」であり正答率が低かった。</p> <p>①課題文を正しく読み取る中で、特に課題文の条件を正しく読み取って答えること、②説明的な文章における図表などの資料の役割を理解したうえで、文章と図を結び付けてその関係を踏まえて内容を解釈すること、③文章の中の意見と根拠など、情報と情報の関係について正しく理解することなどの力を付けていくことが必要である。</p>
算数・数学	<p>○「見出した図形の性質を、与えられた条件を基に考察する」ことに関する問題の「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうか」を問う問題の正答率に課題がある。正答率は「11.8 (全国 25.8)」であり、全国平均を大きく下回った。</p> <p>図形についての考察場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することを求められており、①数学的な表現を正しく理解し、活用する場面を設定すること、②証明問題において見通しをもち、根拠をもとに説明していく場面を仕組み、問題に対して、諦めず取り組める力を付けていくことが必要である。</p> <p>○「整数の性質」や「図形分野」の「知識・技能」の問題に課題がある。それぞれの正答率は、「20.6 (全国 34.8)」、「50.0 (全国 68.3)」であり、全国平均を大きく下回った。数学的な用語の正しい理解はもちろん、数学の世界で出てくる用語を正しく文字式で表現する力も同時に育てていく必要があると考える。</p>

3. 重点課題改善のための授業改善の取組

重点課題	【教科】	指導方法等の授業改善内容
【国語】 課題文、文章と図表の関係、情報と情報の関係を正しく読み取る力	【国語】	<p>○文章中の描写表現から、情景や心情などを正しく読み取る力を育てる。</p> <p>○文章と図表などの資料との関係や、その資料の役割について理解させ、文章を正しく読み取る力を付ける。</p> <p>○意見、具体例、根拠など、情報と情報の関係を捉える学習活動を繰り返し行い、情報と情報との関係を正しく捉える力を付ける。</p>
	【社会】	<p>○文章と図表・地図などの資料との関係を理解して、文章を正しく読み取る力を育てる。</p> <p>○調べたことなどをレポートにまとめる活動を通して、資料や図表を効果的に活用してまとめて書く力を育成する。</p>
	【理科】	○文章と図表などの資料との関係を理解して、文章を正しく読み取る力を育てる。
【数学】 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する力、数学的な知識	【数学】	○言葉、数、式、図、表、グラフを使って論理的に考え、根拠を明らかにして筋道を立てて説明し、伝え合う活動を行う。
	【理科】	<p>○自然事象を観察・実験を基に追究していく過程において、筋道立てて思考し表現できる力を高める。</p> <p>○予想を踏まえ結果を分析・解釈でき、自然事象の規則性について筋道立てて思考し表現する力を高める。</p>
	【社会】	○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察しようとする力を育成する。